

③平成26年度 新規事業候補箇所について

- ・一般国道58号 沖縄西海岸道路
那覇北道路における新規事業採択時評価
- ・那覇都市圏における計画段階評価

一般国道58号 那覇北道路に係る新規事業採択時評価

- 基地等返還後の新都心の整備等により、那覇市北西沿岸部には交通が集中（那覇市内は県民の生活や物流、さらには観光の交通が混在し、昼夜で渋滞）
- 沖縄県の主要産業である観光においても、交通渋滞が最大の課題。（観光振興を図る上で那覇市及び周辺のアクセス性向上が重要。）

1. 事業概要

- 起終点：沖縄県那覇市港町～那覇市若狭
- 延長等：2.2km
(第1種第3級、6車線、設計速度80km/h)
- 全体事業費：約731億円
(うち道路事業費：約380億円)
※国道事業と港湾事業との共同事業による実施
- 計画交通量：約42,100台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約28,900台/日	約6,900台/日	約6,300台/日



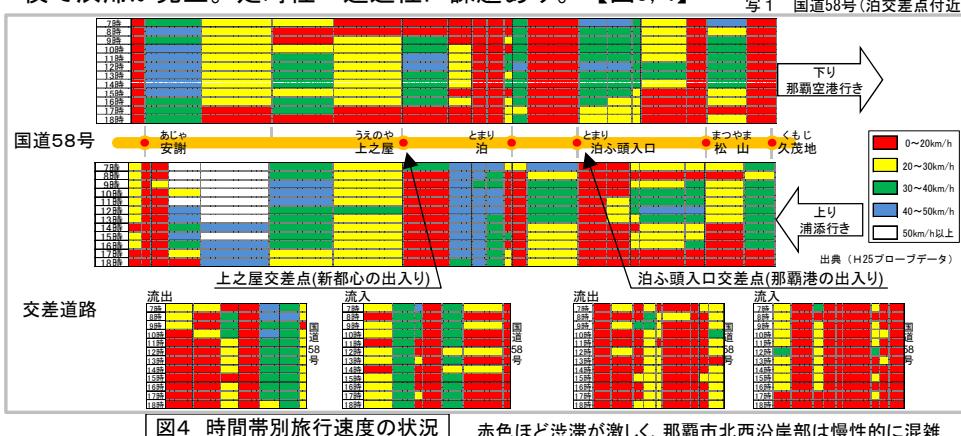
2. 道路交通上の課題

課題1：那覇市北西部の渋滞緩和

○自動車交通に依存している沖縄県内において、那覇市内の交通は、日常生活の交通をはじめ、産業関連の交通や観光交通が混在し、混雑は主要都市のなかでワースト1。
【図2】

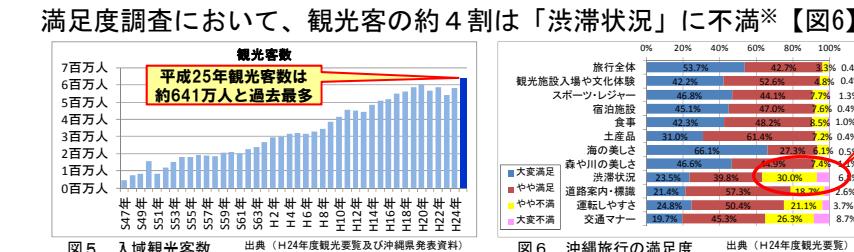


○産業物流の中心地である那覇新都心や、県内の港湾貨物量の半数を扱う那覇港のある那覇市北西部に交通が集中しており、昼夜で渋滞が発生。定時性・速達性に課題あり。
【図3, 4】

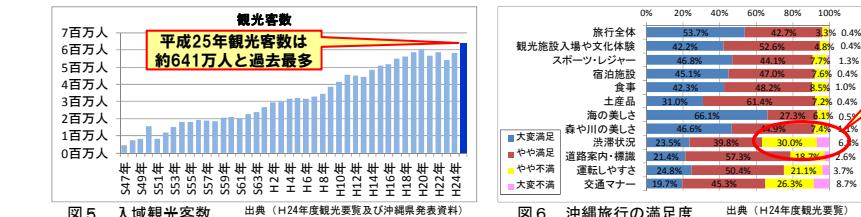


課題2：地域経済・地域社会等

○沖縄県では、沖縄振興計画「沖縄21世紀ビジョン」に基づき、観光振興を推進しており、近年着実に観光客が増加。
【図5】



満足度調査において、観光客の約4割は「渋滞状況」に不満※
【図6】

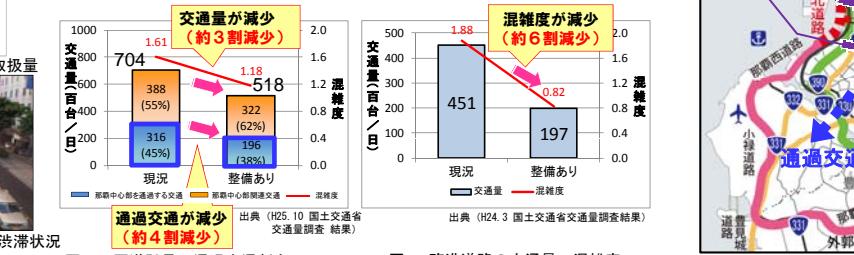


※「大変不満」と「やや不満」の計

3. 整備効果

効果1 交通渋滞の緩和 [◎]

○那覇北道路の整備により、那覇市内に環状道路の一部が形成されることで、那覇市街地内の通過交通を転換し、定時性・速達性の確保が期待される。
【図7, 8, 9】



効果2 地域経済・地域社会等への貢献 [○]

○県南地域は沖縄戦跡国定公園をはじめとした観光地が多く点在し、近年は物流関連企業や西日本最大のレンタカーステーションが立地するなど、急速に成長しているエリア。那覇北道路の整備によって、那覇市北西部の渋滞が緩和されるとともに、物流拠点の那覇港と県南地域のつながりが強化され、地域経済の発展に寄与することが期待される。

■費用便益分析結果（貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの）

B/C	EIRR※1	総費用: 541億円※2	総便益: 1,104億円※2
2.0	8.5%	・事業費: 529億円 ・維持管理費: 12億円	・走行時間短縮便益: 857億円 ・走行経費減少便益: 157億円 ・交通事故減少便益: 89億円

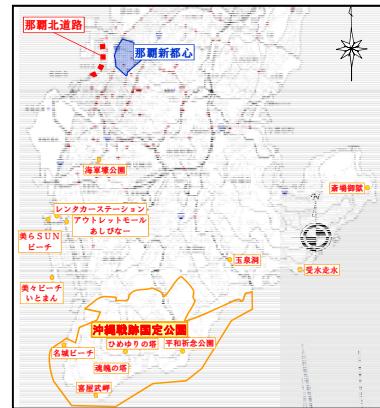
※1:EIRR: 経済的内部収益率

※2: 基準年(H25年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

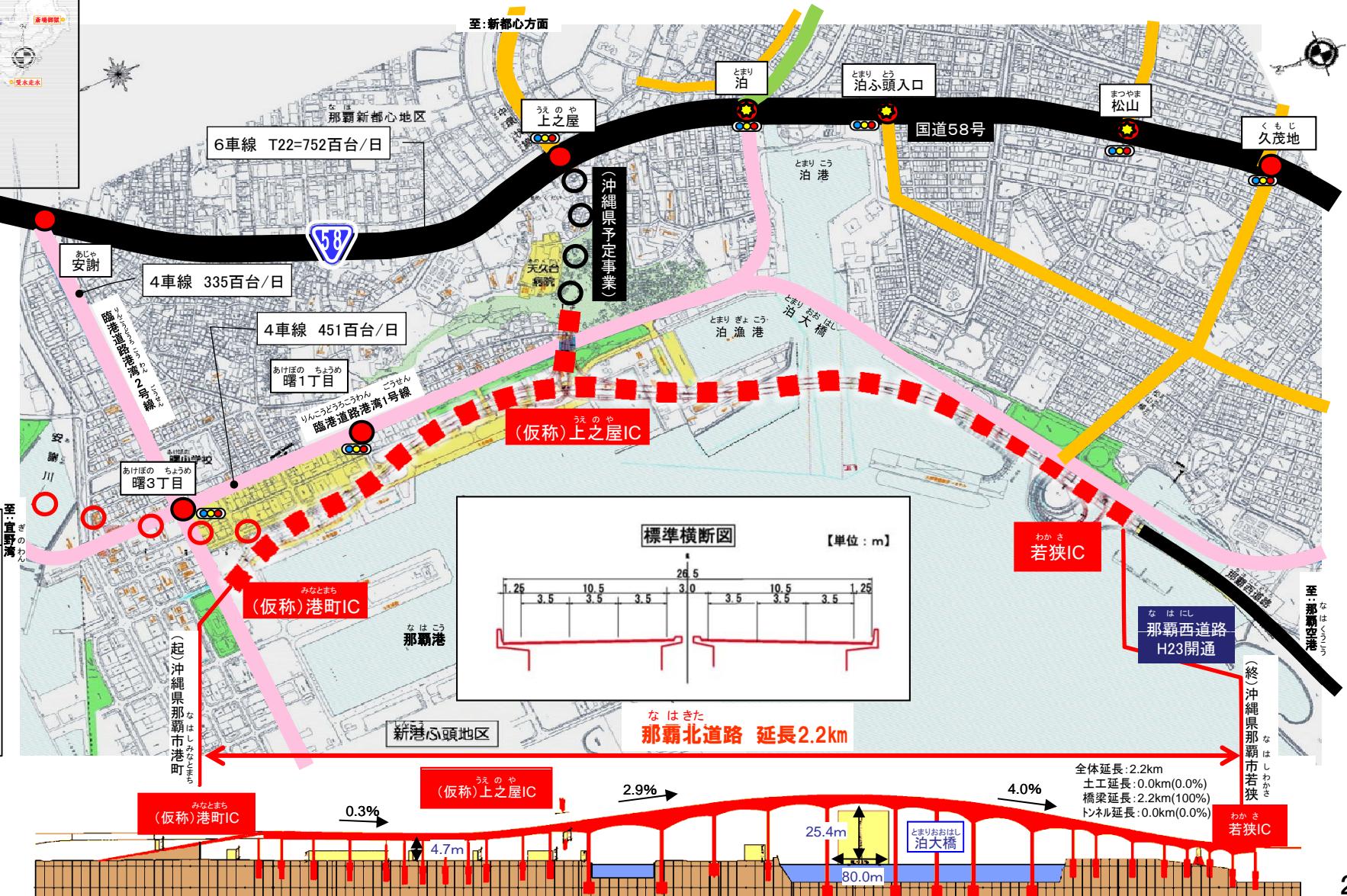


図7 那覇都市圏の環状道路

なはきた 一般国道58号 那覇北道路に係る新規事業採択時評価



凡 例	
■■■	対象区間
○○○	調査中区間
—	高速道路
—	一般国道
—	主要地方道
—	一般都道府県道等
—	臨港道路
—	主要渋滞箇所
●	事故危険区間



1. 那覇都市圏の課題

①中心部の交通渋滞

○那覇市内の平日混雑時平均旅行速度は全国ワースト1位(約17km/h) (図1)

○那覇市内を通過する国道58号、330号などで渋滞が発生(図2)

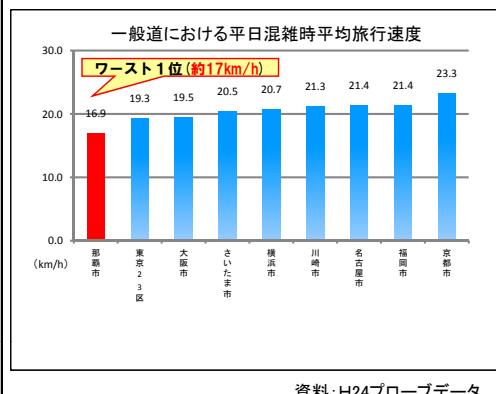


図1 平日混雑時平均旅行速度



図2 那覇都市圏の混雑時の旅行速度(現況)

②直轄国道における交通容量不足

○幹線道路となる直轄国道で交通容量が不足、混雑度が高い状態(図5)

○周辺道路が整備されても、国道58号は依然として交通容量を超過している状態(図6)

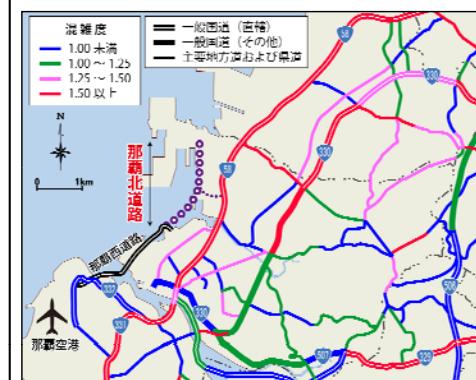


図5 那覇都市圏の混雑状況(現況)



図6 那覇都市圏の混雑状況
(将来(事業中の路線が全て供用後))

2. 原因分析

①中心部への通過交通の流入

○主要幹線である国道58号は、那覇中心部を通過する交通が約5割近くを占めており、容量を大幅に超過(混雑度1.46～1.72)している。(図3)

○那覇都市圏の交通混雑の緩和を目的に計画された2環状7放射道路の一部でもあり、地元からは強い早期整備を求められている。(図4)

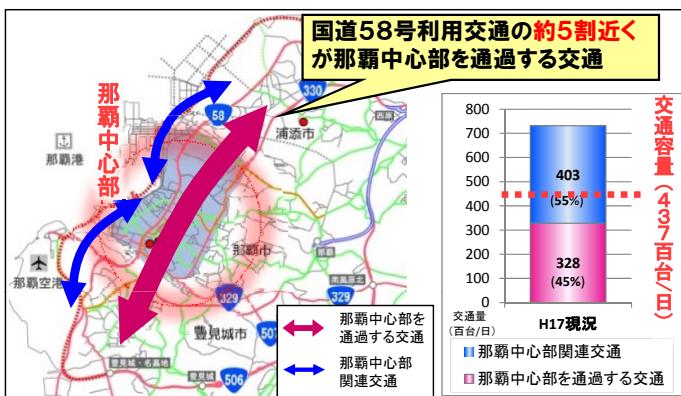


図3 沖縄本島中北部～南部間の交通流動
(H17道路交通センサスによる現況再現結果)

図4 沖縄県における道路整備
(2環状7放射道路イメージ)



写真1 渋滞状況
(国道58号 那覇市天久から泊方面)



写真2 渋滞状況
(国道58号 泊から泊ふ頭入り口方面)

→国道58号那覇地区における対策が必要

3. 政策目標

①中心部における通過交通の削減

②直轄国道の交通容量確保による渋滞緩和

①那覇都市圏における計画段階評価(事業化ネット)

参考2

4. 対策案の検討

評価軸		【Aルート】港湾施設内通過案	【Bルート】海上通過案	【Cルート】泊大橋併走案	【ベースライン】対策をしない案
概要		泊漁港を海側から避けた後、1号岸壁を回避し、港湾施設内への影響を最小限とした案	主に海上を通過し最短で結ぶ案	泊漁港を陸側から回避し、港湾施設内を通過する案	対策をしない案
交通渋滞の解消	混雑度の解消	国道58号の混雑度が大きく減少し、断面としての交通容量を確保 混雑度(交通量(百台/日)) 国道58号【現況】1.72(752) →【整備後】1.18(518) 臨港道路【現況】1.88(451) →【整備後】0.82(197) 断面【現況】1.78 (1204) →【整備後】0.98(1307) <small>*断面は、国道58号・新設道路・臨港道路の合計</small>	国道58号の混雑度が大きく減少し、断面としての交通容量を確保 混雑度(交通量(百台/日)) 国道58号【現況】1.72(752) →【整備後】1.18(518) 臨港道路【現況】1.88(451) →【整備後】0.82(197) 断面【現況】1.78 (1204) →【整備後】0.98(1307) <small>*断面は、国道58号・新設道路・臨港道路の合計</small>	国道58号の混雑度が大きく減少し、断面としての交通容量を確保 混雑度(交通量(百台/日)) 国道58号【現況】1.72(752) →【整備後】1.18(518) 臨港道路【現況】1.88(451) →【整備後】0.82(197) 断面【現況】1.78 (1204) →【整備後】0.98(1307) <small>*断面は、国道58号・新設道路・臨港道路の合計</small>	国道58号の混雑度は依然として高く、断面としての交通容量が確保されない。 混雑度(交通量(百台/日)) 国道58号【現況】1.72(752) →【整備なし】1.50(655) 臨港道路【現況】1.88(451) →【整備なし】1.78(428) 断面【現況】1.78 (1204) →【整備なし】1.60(1082) <small>*断面は、国道58号・臨港道路の合計</small>
	国道58号を利用する那覇中心部を通過する交通・通過交通割合	那覇西道路と直結し、那覇空港から浦添市まで高速走行が可能であるため、那覇市以南～浦添市以北の交通等が当該道路へ転換 <small>【現況】328百台/日(45%)</small> →【整備後】196百台/日(38%)	那覇西道路と直結し、那覇空港から浦添市まで高速走行が可能であるため、那覇市以南～浦添市以北の交通等が当該道路へ転換 <small>【現況】328百台/日(45%)</small> →【整備後】196百台/日(38%)	那覇西道路と直結し、那覇空港から浦添市まで高速走行が可能であるため、那覇市以南～浦添市以北の交通等が当該道路へ転換 <small>【現況】328百台/日(45%)</small> →【整備後】196百台/日(38%)	国道58号の通過交通割合は変化なし <small>【現況】328百台/日(45%)</small> →【整備なし】297百台/日(45%)
定時性・速達性の確保 (指標:那覇空港～那覇港間の移動時間)		那覇空港～新港ふ頭の定時性・速達性が向上 <small>約12分 → 約6分(那覇北道路利用)</small>	那覇空港～新港ふ頭の定時性・速達性が向上 <small>約12分 → 約6分(那覇北道路利用)</small>	那覇空港～新港ふ頭の定時性・速達性が向上 <small>約12分 → 約6分(那覇北道路利用)</small>	那覇空港～新港ふ頭の所要時間 <small>約12分</small>
懸案事項		特になし	× 1号岸壁の使用制限により港湾利用者の理解が困難	× 泊漁港入口部への橋脚配置に伴う漁協関係者の理解が困難	× 国道58号等の西海岸側の道路混雑という課題が依然として残る
コスト		概ね731億円(補償物件18件)	概ね856億円(補償物件16件)	概ね825億円(補償物件34件)	—
総合評価		○	×	×	×

対応方針(案): ルートAによる対策が妥当

【計画概要】

- 路線名: 一般国道58号
- 区間: 那覇市港町～那覇市若狭
- 概略延長: 2.2km
- 標準車線数: 6車線
- 設計速度: 80km/h
- 概ねのルート: 図7ルートAの通り



(参考)当該事業の経緯等

都市計画決定等の状況

H 6年12月 : 地域高規格道路 計画路線指定(沖縄西海岸道路全線)

H 7年 8月 : 地域高規格道路調査区間指定

H25年 4月 : 都市計画決定

地域の要望等

沖縄西海岸道路(那覇北道路)に関しては、沖縄西海岸道路建設促進期成会等により平成15年～平成25年5月までに12回の早期事業化に関する要望が出されている。また、平成25年5月に沖縄県知事より、平成25年7月に南部市町村会等より早期整備に関する要望が出されている。

那覇北道路整備断面図

